

第6回プレメディカルケア 産業支援プロジェクト 今年度の活動について

2019年5月24日

長野県佐久地域振興局

日本医療福祉デザイン協会

佐久産業支援センター

これまでの活動

- 9/20 第1回プレメディカルケア開発支援プロジェクト
- 10/22 第2回プレメディカルケア開発支援プロジェクト
- 12/6 第3回プレメディカルケア開発支援プロジェクト
- 1/24 第4回プレメディカルケア開発支援プロジェクト
- 2/22 第5回プレメディカルケア開発支援プロジェクト

第1回 プレメディカルケア産業支援プロジェクト

- 日時・場所：9月20日（木）佐久大学にて開催
- 参加者：ものづくり/サービス企業、医療/介護機関、学術機関、金融機関、自治体、医療製販企業などから、計40名
- パネルディスカッション：（敬称略）
 - 佐藤 徹（日本大学芸術学部デザイン学科教授）
 - 中林 鉄太郎（東京造形大学デザイン学科教授）
 - 柴田 映司（TEKO Design代表）
 - 足立 昌洋（長野県佐久地域振興局）
 - 鍋田 知宏（日本医療福祉デザイン協会）
 - 稲生 寿穂（佐久産業支援センター）講演資料をホームページ(www.soic.or.jp)に掲載
- アンケート結果で、90%の方からプロジェクトの全体像、方向性について「十分理解できた」「ほぼ理解できた」とご回答いただき、懇親会では、「参加して良かった」という声を多数お聞きしました。

第1回の様子



第2回 プレメディカルケア産業支援プロジェクト

- 日時・場所：10月22日（木）佐久大学にて開催
- 参加者：ものづくり/サービス企業、医療/介護機関、学術機関、自治体、医療製販企業などから、計34名
- ニーズとシーズのご紹介：
浅間総合病院様、佐久総合病院様、恵仁会くろさわ病院様
ウインテック(株)様、(株)協和様、(株)ナルコム様、
(株)西軽精機様、マイクロコントロールシステムズ(株)様、
マイクロストーン(株)様
- ワークショップ：「プレメディカルの視点から佐久の未来を語る」
- アンケートでは、「異なる業種、立場の人と話げできた」「いろいろな考え方があり、勉強になりました。情報を共有することの大切さを改めて感じます」「メーカーの商品を現場が選ぶのではなく、現場のニーズをメーカーが理解することがビジネスチャンスになるのではないか」などコメントをいただきました

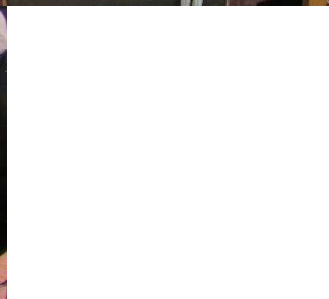
第2回の様子



第3回 プレメディカルケア産業支援プロジェクト

- 日時・場所：12月6日（木）佐久平プラザ2 1にて開催
- 参加者：ものづくり/サービス企業、建設業、宿泊業、医療/介護機関、
学術機関、自治体、医療製販企業などから、計38名
- 講演会：「ヘルスケアはヘルスシェアへ」 桐村 里紗・一平 ご夫妻
- トークライブ：「ヘルスケア環境とデザインの現場から、これからの社会に
必要なこと」 桐村ご夫妻・中林 教授
- シーズ：「医療機器の製造現場から医療の現場、ものづくりの現場の旬」
佐藤 直樹 様（株式会社シズン）
- ワークショップ：「健康長寿を実現するために必要なこと・もの」
- アンケートでは、「参加者がつながるきっかけが生まれればよい」「新しい
取り組みやサービスにつながればよい」「プレメディカルについてプロジェクト
における定義を再確認すべきでは」など、ご意見をいただきました。

第3回の様子



第4回プレメディカルケア開発支援プロジェクト

- 日時・場所：1月24日（木）佐久大学 4103教室
- 参加者：ものづくり/サービス企業、建設業、宿泊業、医療/介護機関、大学、自治体、医療製販企業、支援機関などから、計46名
- 講演および事例/シーズ：
 - 「人に優しい着るロボットcurara®の歩行支援技術とその開発体制」 信州大学 橋本先生
 - 「足から始める健康づくり 佐久大学 足育のご紹介」 佐久大学 坂江先生
 - 「自社のコア技術を生かした産学官連携事業への参画」 ナビオ(株) 荻原様
 - 「地方地域のこれからの医療とビジネスへの取組み」 パラマウントベッド(株) 水上様
- ワークショップ：「健康長寿社会に向けた産学連携に必要なこと」
- アンケート：「いろいろな方と純粋に情報交換できることがうれしい」という声を継続していただくと同時に、「佐久の可能性が(プレメディカルをメインに)十分ある」というご意見や、「モデルシティへどう取り組むか」、「今後も継続し、何か具体的なプロジェクトが生まれれば良い」といった前向きなご意見が寄せられました

第4回の様子



第5回プレメディカルケア開発支援プロジェクト

- 日時・場所：2月22日（木）佐久大学4103教室
- 参加者：ものづくり/サービス企業、建設業、宿泊業、医療/介護機関、学術機関、自治体、医療製販企業などから、計30名
- 講演会：
 - 「ナノシード（除菌・消臭装置）のご紹介」（株）ナノシード 長谷川様
 - 「製品の持つポテンシャルと市場戦略について」東京造形大 中林先生
 - 「地域資源を活用したデザインの実例」 日本大学 佐藤先生
 - 「健康セルフチェック機器のデザイン紹介」 TEKOデザイン 柴田代表
- ワークショップ：「プレメディカルの街を目指してやりたいこと」
- アンケートでは、「いつも新しいことを知ることができ、考えが広がる」「いろいろな方と意見交換できるには良い」という声や、「次年度以降の方針やプロジェクトの方向性は確認・共感できた」という声をいただき、いくつかのプロジェクト・テーマのご提案をいただきました

第5回の様子



今後の活動について

積み重ねられた健康長寿の歴史

1960年代から地域健康医療による健康長寿を目指す活動が進められており、
 プレメディカルケア・プロジェクトもその延長線上にある



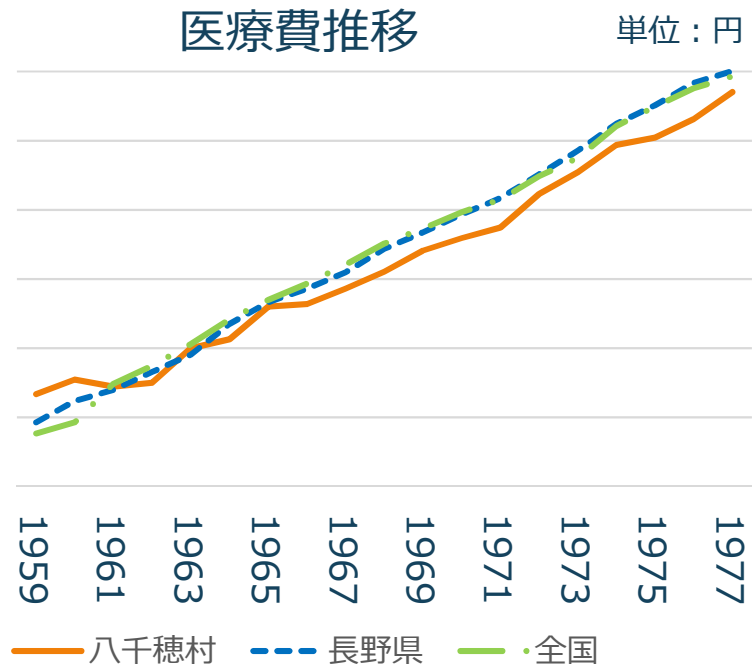
2018 プレメディカルケア産業支援プロジェクト
 産学医官民連携による価値創造型商品・サービスの開発

2017 佐久市健康長寿産業振興ビジョン
 佐久市の強みを生かした産業の創出と育成
 健康長寿プロジェクト推進会議

2015 産業支援機関創設特別委員会
 佐久の強み(地域資源)を生かした産業招致
 安全・安心のヘルスケア分野

2011 佐久市 世界最高健康都市構想
 「私は健康です。私は幸福です。佐久は
 住みやすい街です。」と市民が感じられる街

予防医療の浸透による医療費低減

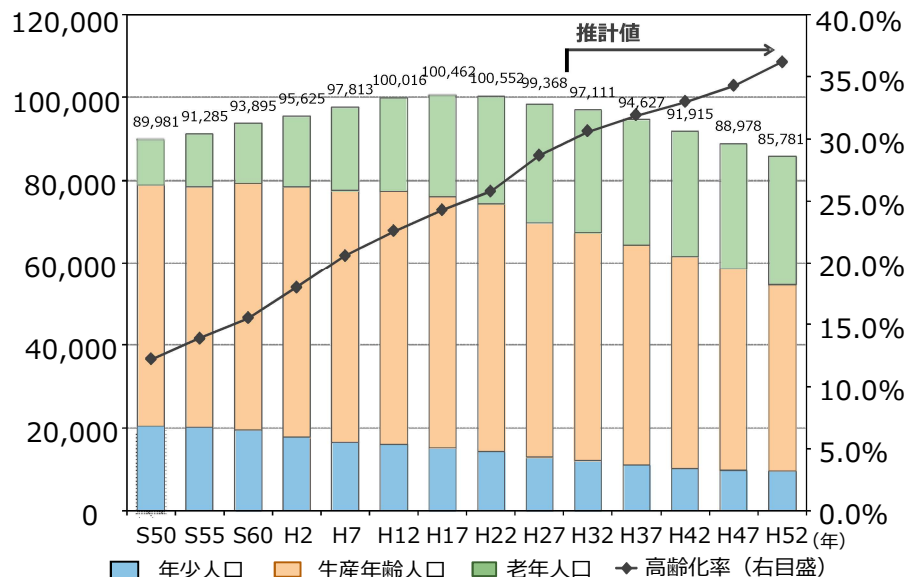


1960~ 地域農村医療 … 佐久総合病院(若月先生)、浅間総合病院(吉澤先生)

佐久地域の危機

① 人口減と高齢化

(人) 自然減による人口減少と高齢者比率の増加



(資料) 総務省統計局「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」
 (注) H27(2015)年までは国勢調査結果、以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計結果による

③ コア企業の欠如

優れた技術を持つ企業が多い反面、
それらを統合した商品・サービスを提供
する企業が少ない

② 工業出荷減

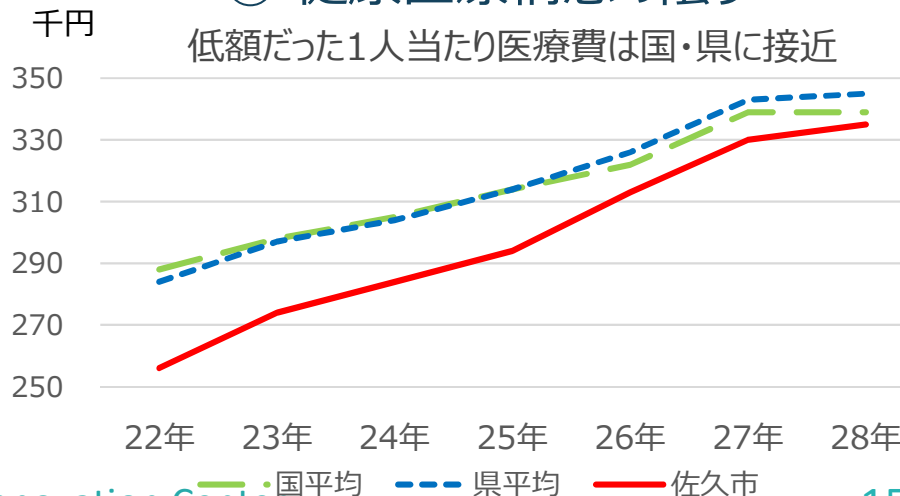
億円

製品出荷額は大企業の転出により漸減



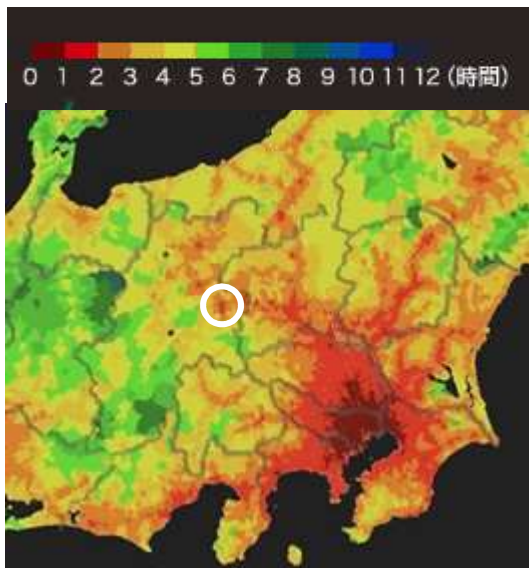
④ 健康医療構想の陰り

低額だった1人当たり医療費は国・県に接近

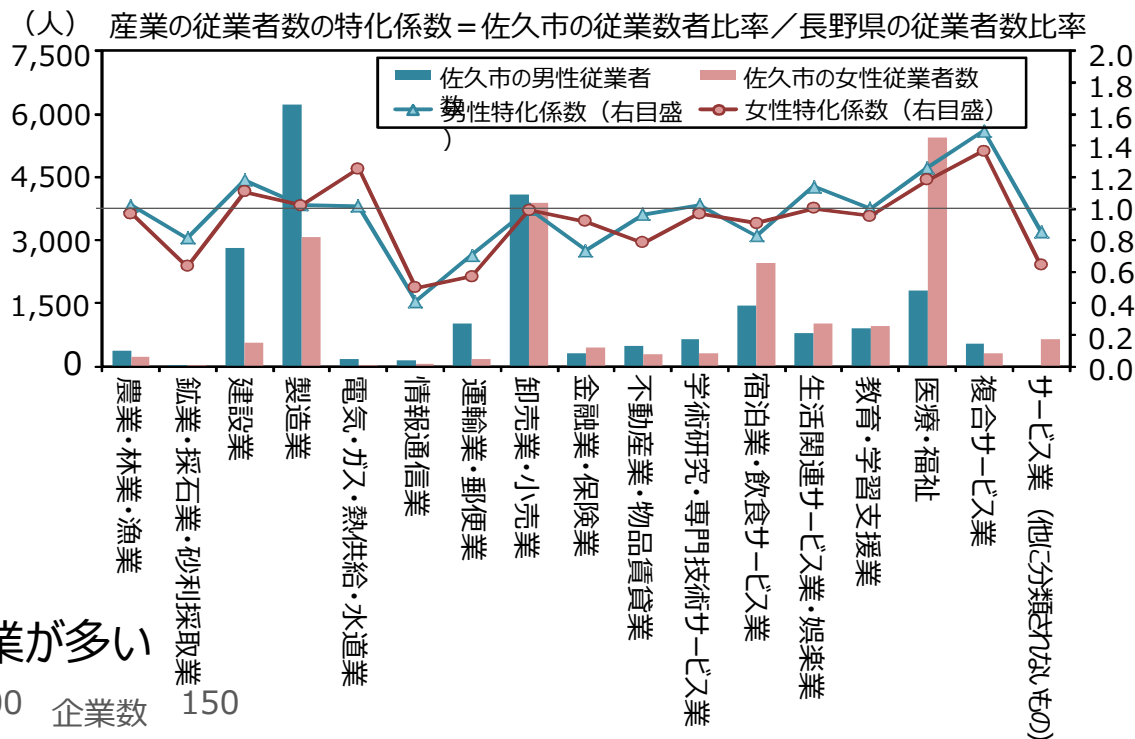


佐久地域の好機

① 首都圏から1時間強の利便性

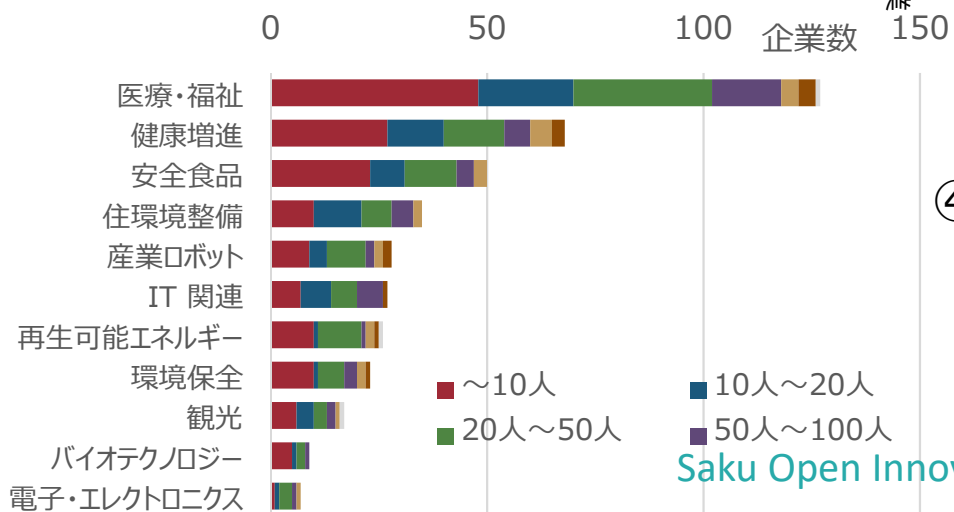


② 医療・福祉関連の施設が多く、従事者も多い



(資料) 総務省統計局「平成26年年経済センサス基礎調査」

③ 医療・福祉が成長分野と考える企業が多い



④ 豊かな自然環境の中、健康への意識が高く 地域包括センター、健康相談員、食生活 改善推進員など、地域・市民活動が充実

健康長寿による都市発展のシナリオ

健康長寿：個人・社会活動の活性化 → 消費拡大
医療費低減 → 個人・公共負担低減 → 消費・公共支出拡大
ブランドイメージ → 移住・観光の増加 → 消費拡大
健康長寿を実現するしくみ・マインド → ビジネスモデル化 → 産業振興

【しくみ】

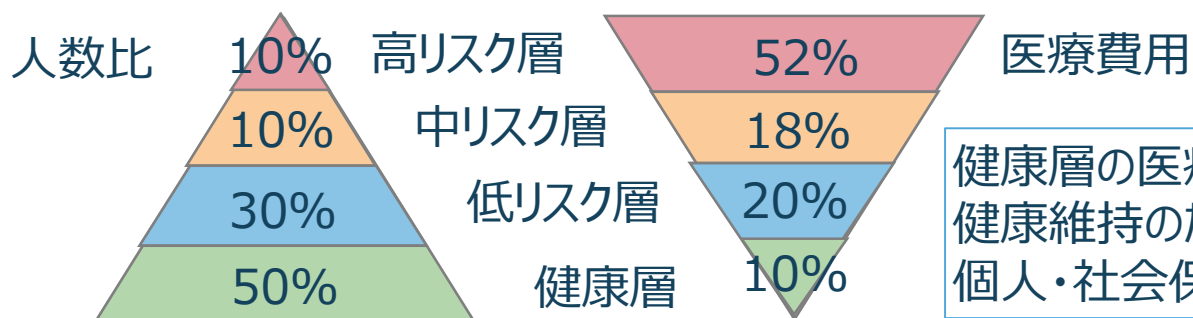
システム：デジタル健康手帳 → 客観評価 → 自己認識 → 健康長寿
医療・介護データ共有 → 効率的治療 → 医療・介護費低減、健康長寿

ツール：**健康診断ソフト** → 客観評価 → 自己認識 → 健康長寿
健康増進器具 → 運動習慣 → 健康長寿

【マインド】

↳ 佐久の狙い所 … 産業集積

教育・啓蒙：運動・栄養指導 → 手法・知識習得 → 健康長寿
インセンティブ：個人・社会保険料軽減 → 価値観の転換 → 健康長寿



健康層の医療費負担は少ないので、健康維持のための支出を増やすには、個人・社会保険料の負担減に着目

沖縄県広域連合（後期高齢）の分析結果

今年度の活動について（1）

■ ビジョン：最高健康長寿都市宣言(H23)の達成

- ① 産・学・医・官・民 連携による価値創造型の商品・サービス開発
- ② 医・食・住が充実したまちづくり

■ KPI(案)：健康寿命を延伸させる商品・サービスの新しい取組み 3件

内閣府 未来投資戦略2018「次世代ヘルスケアシステムの構築」

- ① 2020年までに国民の健康寿命を1歳以上延伸、2025年までに2歳以上延伸
全国：2010年 男性 70.42歳、女性 73.62歳 → 2016年 男性 72.14歳、女性 74.79歳
長野県 2010年 男性 71.17歳、女性 74.00歳 → 2016年 男性 72.11歳、女性 74.72歳
- ② 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

■ ブランドイメージ創造：健康長寿都市「佐久」

- ビジョンにベクトルを合わせて活動を繋ぎ、Web・マスコミ等を通じて発信

今年度の活動について（2）

■ 場を作る（2カ月に1回の全体会議）

- 講演会：事例・情報の学び
- ワークショップ：ニーズ・シーズのマッチング、アイデアの創出
- 新しい取組み(プロジェクト)の進捗報告

■ 新しい取組み(プロジェクト)推進

- 個別に開催（原則として全体会議のない月）
- プロジェクト候補
 - ✓ 健幸aiちゃん … 健康セルフチェック器具（柴田様からご紹介）
 - ✓ ナノシード（除菌消臭装置） … 信州ベンチャー開発認定品
 - ✓ 眠りスキャン … 睡眠中のバイタルデータ取得・分析による健康管理
- ✓ そのほか、参加の皆様からご提案があるもの

本日の予定

14:00-14:15 報告 今年度の活動計画について（事務局）

14:15-15:00 講演 「編成樹脂網状構造体の開発と製品展開について」
(株)エコワールド 代表取締役 江口 ゆかり様

15:15-15:45 報告 新しい取組み(プロジェクト)進捗状況

15:45-17:00 ワークショップ
テーマ「網状構造体の新しい使い方」

応援します。市民の元気、企業の本気。

